

長野県が発行するグリーンボンドの購入について

板橋区は、このたび、長野県が発行するグリーンボンド（長野県令和4年度第4回公募公債、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、気候変動の緩和・気候変動への適応に資するプロジェクト等の資金調達のために発行される債券です。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義する「グリーンボンド原則2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」への適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）から検証を受けており、最上位である「Green1」の評価を取得しています。

本債券の発行による資金調達は、2050年の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロの達成（緩和）と、気候変動に起因した自然災害による被害の回避・軽減（適応）に向けて、長野県が取り組むための下表の環境施策に充当されます。

分類	事業内容
再生可能エネルギー	・小水力発電所の設置
クリーン輸送	・しなの鉄道の車両更新に対する補助
エネルギー効率	・県有施設の新築、改修、設備等の更新（空調設備の更新、照明のLED化、高断熱化等）
気候変動への適応	・交通インフラ整備（信号機電源付加装置、道路防災等） ・水害対策のための河川改修 ・土砂災害対策のための砂防、治山、地すべり、急傾斜地崩壊対策
生物自然資源等の環境持続型管理	・森林環境保全のための林道整備

板橋区は、本債券をはじめとしたSDGs債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進するとともに、経済・社会・環境の三側面の総合的な発展による「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていきます。